



沼田公園の歴史を学び、二の丸跡（現在のグラウンド）で金井さんと撮影する児童ら
※撮影のためマスクを外しています

まちの中の 真田を見つけよう

沼田を統治した戦国武将の真田氏の歴史について学ぼうと、沼田小学校（荒木富美子校長）3年生47人は、金井竹徳さんの解説を聞きながら沼田公園を巡りました。

金井さんは歴史背景を交えながら、真田氏の痕跡が残る沼田城跡の石垣ややぐらを案内。沼田城絵図を広げて城の入り口の場所を示したり、現在の白沢町や川場村から水を引いて生活していたと説明したりしました。児童らは熱心にメモを取りながら「石垣はこの石を使っている」「やぐら門はいくつあった」「城は何色だった」などと質問し、興味深く聞き入りました。

荒廃した沼田城跡を買い取り、現在の公園へと整備した本市名誉市民で実業家の久米民之助の胸像の前では「整備されていなかったら、住宅地になっていたでしょう。久米さんの力を感じ、歴史ある公園を楽しんで」と、金井さんは話します。

同小は総合的な学習の一環として毎年、金井さんに講師を依頼し、歴史への理解を深めています。



久米民之助の胸像



櫓台の石垣



再現された城鐘